

委員会審査

一般会計

総務産業・社会文教常任委員会では、元年度一般会計決算の各項目について、9月11日、14日の2日間で、所管による関係資料をもとに慎重かつ詳細に審査を実施した。

その内容について、両委員長から審査報告があり、主な内容は以下のとおり。

総務産業常任委員会

ふるさと納税

前年度比約6870万円増

委員長 滝沢幸映

歳入

問 特別交付税の主な算定項目と昨年に比べて増額となった理由は。

答 代表的な算定項目は地方バス運行維持に要した経費及び山村振興対策に要する経費などである。東日本台風の災害復旧に係る経費が算定されたことから増額となった。

歳出

総務課

問 庁舎等改修工事の内容は。

答 庁舎の停電時など、電力維持のための非常用発電機の更新工事と移動系防災行政無線を発電機に接続させるための工事

である。

問 公債費の元金、利子の利率の内訳は。借換は行っているか。

答 利子の利率については、3・1%から0・002%である。借入利率の高い起債の償還が終了していることから、利子の支払いは年々減少してきている。借換については、条件等精査するなかで検討していく。

会計室

問 コンビニ収納の状況は。

答 町税に係る利用率（件数ベース）は、元年度は20・77%であり、昨年とほぼ同じである。

企画政策課

問 自治会活動保険の内容と保険金支払実績は。

答 自治区が行う様々な活動において、ケガや物損があった場合などに一定の補償を行うものである。令和元年度は1件の支払実績があった。

問 ふるさと納税で町民が他市町村へ寄附したことになる、町税への影響額及び実質収入額は。

答 町民が他自治体へふるさと納税をしたことによる町税への影響額は約700万円である。

商工農林課

問 元年度、新たに有害鳥獣侵入防止柵を設置した箇所はどこか。

答 町が資材を供給し、地元区が主体となり、網掛地区に1040m、上平小野沢地区に72m設置した。

問 プレミアム付商品券事業の実績は。

答 消費税10%引き上げによる、消費に与える影響を緩和する生活支援と、地域の消費喚起を促す目的で、非課税世帯や子育て世帯を対象として行われた。町内で2167万円分が使用された。

問 テックショップ東京の閉店による影響は。

答 町内企業経営者と信州大学の学生などによる、ものづくりイベントなどを行ってきたことにより、企業と大学とのつながりができたので、引き続き、連携して共同事業などを実施していく。



猪のオリに入った子熊（南日名・遠入地区）

建設課

問 空き家バンク利用促進補助金の実績は。

答 改修が2件、片付けが3件である。

問 しなの鉄道軌道安全輸送設備等設備負担金の内容は。

答 老朽化が進んでいる自動停止装置と保守用車両を更新する費用を、構成市町村で負担している。

問 災害復旧の際の工事までの流れは。復旧工事が他市町村よりも早く進んだ理由は。

答 復旧工事は被災した箇所の状況確認後、査定設計書を作成し、国の災害査定を受ける。その後、工事発注に必要な実施設計書により入札し、業者を決定する。復旧工事が早く進んだ要因としては、被害が他市町村よりも少なかったことや町内の建設業者が復旧工事を優先して行ってくれたことによる。

社会文教常任委員会

子育て・高齢者支援

委員長 大森茂彦

住民環境課

問 自動車急発進防止装置取付費補助金の交付状況は。

答 昨年10月に制度を開始し、8件、16万円を補助した。

問 葛尾組合の可燃ゴミ焼却量の年次推移は。

答 サンデーリサイクルや紙類リサイクルBOXでの資源物回収の利用実績が増加しているものの、昨年、一昨年と可燃ごみ排出量は増加した。

問 消防施設の詰所・器具庫の数は。

答 22箇所である。

福祉健康課

問 老人クラブ数の状況は。

答 元年度は12クラブで30年度と変わらない。人数は若干減少した。

問 福祉タクシーの補助適用金額は。

答 今年2月の料金改定にあわせ、それまでの720円から840円以内とした。初乗り運賃640円に迎春料金200円または迎春利用がない場合は、加算料金2回分も適用となる。

問 災害見舞金の支給件数は。

答 昨年の台風による人身被害が2件、建物災害の住家が50件、住家以外が11件の合計63件である。最大の支給額は、人身被害の重

症と建物災害の住家がそれぞれ1万円である。

問 小中学生の生活習慣病予防検診の内容は。

答 小学5年生及び中学生2年生を対象に、血液検査、血圧測定、尿検査を行っている。その結果を踏まえ、ハイリスク者に養護教諭から声掛けし希望者に保健指導を行っている。

中学生のハイリスク者は減少した。

教育文化課

問 ブックススタート事業で贈呈する本はどのように決めているのか。

答 7カ月検診時、子どもたちに本を2冊贈呈しており、元年度は75名に贈呈した。図書館司書と相談し、子どもの成長に適した本を選定している。

問 中国教育交流補助金はどのように使われているか。

答 中国への訪問時の旅費等の補助として、また、訪日団の受入時はレセプション費用やホームステ

イ等受入家庭への補助等に充当している。

問 図書館の蔵書数は約13万冊であるが、他館と比較して充実しているといえるか。また、特徴は何か。

答 同規模の図書館と比較して充実していると考えている。

また、「工業のまち」ということから、工業に関する本や法律、医療関係の本を多く受け入れ、充

実させている。

問 文化財の案内看板は何基あり、修繕は行っているか。

答 案内板、標柱は75基あり、毎年、計画的に複数箇所の修繕を行っている。

問 旧給食センター解体後の利用は。

答 今後、町道改良とあわせて一部道路用地にする考えもあるが、当面は駐車場として利用する。



坂城中学校駐車場（旧給食センター跡地）